

2018 ENTRY LIST

全日本スーパーフォーミュラ選手権 エントリーリスト

Twitter Facebook Instagram

★は今季スーパーフォーミュラ初参戦

※写真は開幕戦前のテスト時のものです。実際のカラーリングと異なる場合があります。

P.MU/CERUMO・INGING

ピーエムユーセルモインギング

1 石浦宏明
Hiroaki ISHIURA
1981年4月23日生
東京都

昨シーズンのチャンピオン。2年ぶり2度目の王者となった。昨年の第3戦では現役最年長の36歳で優勝を達成と、円熟の域に達している。



JMS P.MU/CERUMO-INGING SF14

▶ <https://ameblo.jp/ishiura/>

2 国本雄資
Yuji KUNIMOTO
1990年9月12日生
神奈川県

2016年に初優勝を含む2勝を挙げて王座に就いた現役では最年少のチャンピオン。昨年は第3戦富士で初のポールポジションを獲得した。



JMS P.MU/CERUMO-INGING SF14

▶ <http://yujikunimoto.com>

KONDO RACING

コンドーレーシング

3 ニック・キャシディ
Nick CASSIDY
1994年8月19日生
ニュージーランド

昨年スーパーフォーミュラにデビューし、第2戦岡山山のレース1で3位入賞、第6戦SUGOではPPと活躍。自身の初優勝を挙げられるか。



ORIENTALBIO KONDO SF14

▶ https://twitter.com/nickcassidy_

4 山下健太
Kenta YAMASHITA
1995年8月3日生
千葉県

2016年に全日本F3チャンピオンとなり、昨年スーパーフォーミュラに進級。3度の入賞を果たし、第4戦もてぎではポールポジションを獲得した。



ORIENTALBIO KONDO SF14

▶ <http://kentayamashita.jp>

ここに注目! 第1戦 鈴鹿の見どころ

いつも以上に重要度が増すピット戦略

2018年の全日本スーパーフォーミュラ選手権がいよいよ開幕。舞台の鈴鹿サーキットは昨年の最終戦・決勝が季節外れの台風で中止となったため、この日本のモータースポーツの“聖地”で国内トップフォーミュラのレースが行われるのはなんと1年ぶりになる。“ピュアレース”のファンの方々にとっては待ちに待った1戦だ。

今季のシリーズには、昨年同様11チーム・19台が参加。だが、ドライバーの顔ぶれはかなり変

わった。ジェームス・ロシターや平川亮が久しぶりに復帰。昨年までF2で活躍した松下信治や、今季F2と掛け持ちでシリーズに参加する福住仁嶺、昨年ワールドシリーズ・フォーミュラV8 3.5でチャンピオンを獲得したピエトロ・フィッティパルディがルーキーとして顔を揃える。また、一昨年まで通算6シーズンの長きに渡って全日本F3に出場、ようやくトップカテゴリーへの切符を手にした千代勝正も注目のルーキーだ。彼らを迎え撃つ

Team Pit

—— ピット割り

JSB1000					JSB1000		1/2		JSB1000		15/16			JSB1000		F3		36/37		JSB1000		7/8			JSB1000		19/20		JSB1000		18			JSB1000		3/4		JSB1000		5/6			JSB1000		17		F3		64/65			F3		50		JSB1000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
---------	--	--	--	--	---------	--	-----	--	---------	--	-------	--	--	---------	--	----	--	-------	--	---------	--	-----	--	--	---------	--	-------	--	---------	--	----	--	--	---------	--	-----	--	---------	--	-----	--	--	---------	--	----	--	----	--	-------	--	--	----	--	----	--	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

ドコモチームダンディライアンレーシング

5 野尻智紀
Tomoki NOJIRI
1989年9月15日生
茨城県



DOCOMO DANDELION M55 SF14

デビューした2014年にいきなり優勝を果たし、一躍注目の存在に。昨年は第5戦オートボリスでポールポジション獲得と速さは一級だ。

▶ https://twitter.com/tomoki_nojiri

6 松下信治★
Nobuharu MATSUSHITA
1993年10月13日生
埼玉県

2015年からF1直下のGP2（17年にF2と改称）で活動。今シーズン、スーパーフォーミュラにデビューした期待の若手で、その実力が注目される。



DOCOMO DANDELION M6Y SF14

▶ <https://www.nobuharu.com>

UOMO SUNOCO TEAM LEMANS

ウオモスノコチームルマン

7 ピエトロ・フィッティパルディ★
Pietro FITTIPALDI
1996年6月25日生
ブラジル

今年海外から唯一の新規参戦者で、昨年のワールドシリーズ・フォーミュラV8 3.5のチャンピオン。元F1王者のエマーソンを祖父に持つ。



UOMO SUNOCO SF14

▶ <https://twitter.com/pifitti>

8 大嶋和也
Kazuya OSHIMA
1987年4月30日生
群馬県

昨年、古巣となるチームルマンから5年ぶりにスーパーフォーミュラに復帰。第5戦オートボリスで3位入賞と、名門チーム復活に全力で挑む。



UOMO SUNOCO SF14

▶ https://twitter.com/oshima_kazuya

TEAM MUGEN

チーム・ムゲン

15 福住仁嶺★
Nirei FUKUZUMI
1997年1月24日生
徳島県



TEAM MUGEN SF14

2016、17年とGP3で活躍し、今季スーパーフォーミュラにデビューした話題の新人。ホンダの若手ドライバー育成プログラムの一員で、今季はF1直下のF2とダブル参戦する。

▶ https://twitter.com/nirei_fukuzumi

のが、経験者&ベテラン勢。2度のタイトル獲得を果たした石浦宏明を筆頭に、中嶋一貴、国本雄資、山本尚貴といったチャンピオン経験者はもちろん、小林可夢偉、塚越広大、関口雄飛ら実力派ドライバーが今季も覇権争いを演じる。

そんな今シーズンは、タイヤの2スベック制が全戦で採用されるというのが一番の変更点。ヨコハマタイヤの発表によると、「昨年スベックよりももたないソフトタイヤを開発した」ということだが、これをどう使いこなすかが鍵となる。ノックアウト予選では、Q1はミディアムの使用が義務付け。Q2、Q3では制限はなくソフトを使う

のが定石と見られるが、ピークグリップはわずかに1周ということで、誰が最もミスなくウォームアップとアタックをまとめられるかがグリッド位置にも大きく影響しそう。また、決勝では両スベックのタイヤをそれぞれ1回ずつは装着しなければならないため、スタートにミディアムを選ぶのが、ソフトを選ぶのかも注目だ。さらに今回は距離が300kmと長く、給油も必要。どちらのタイヤでどれぐらいの距離を走るのか、ピットタイミングも含めて見どころは多い。ソフトの持ち具合によっては2ピットも予想される分、各陣営の動きから目が離せない展開となるだろう。

16

山本尚貴

Naoki YAMAMOTO
1988年7月11日生
栃木県

2013年のチャンピオン。昨年こそ優勝もポールポジションもなかったが、ホンダ勢の中心的存在で、今季もその先鋒として活躍が期待される。



TEAM MUGEN SF14



REAL RACING

リアルレーシング

17

塚越広大

Koudai TSUKAKOSHI
1986年11月20日生
栃木県

2012年にチャンピオンを争い、惜しくも2位に。翌13年から現チームに移り、今年で6年目のシーズン。チームに初優勝をもたらすことができるか。



REAL SF14



carrozzeria Team KCMG

カロツェリア チーム ケーシーエムジー

18

小林可梦偉

Kamui KOBAYASHI
1986年9月13日生
兵庫県

F1で活躍後、2015年にスーパーフォーミュラへ。昨年は第4戦のもてぎで優勝目前の2位を獲得と、今年こそ初優勝の期待がかかる。



KCMG Elyse SF14



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

イトウチュウエネクス チーム インパル

19

関口雄飛

Yuhi SEKIGUCHI
1987年12月29日生
東京都

スーパーフォーミュラは2016年のデビューだが、その年に2勝し、昨年も2勝とこの2年間では最多の勝利を誇る。目指すは初のチャンピオン獲得だ。



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14



20

平川 亮

Ryo HIRAKAWA
1994年3月7日生
広島県

2013年にスーパーフォーミュラにデビュー。16、17年はスポーツカーやGTレースで活躍し、昨年スーパーGTで王者に。今年3年ぶりにスーパーフォーミュラに復帰。



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14



松田次生が語る
鈴鹿サーキットガイド

各選手のアプローチの違いに注目!

今のクルマは1コーナーのクリップ付近まで全開なので、ドライならものすごく迫力があるポイント。ただ、セッティングが決まっていなくてクルマが跳ねたりすると、2コーナーのクリップに

付けられないことがあります。2コーナーに向けては、人によってブレーキングのタイミングが違いますし、ラインが変わってきます。大回りする人と小回りする人がいますね。2コーナーの立ち上がりからは早くもS字に入っていくアプローチになりますが、ソフトだとS字の1つ目はほぼ全開。逆バンクも各々違いますが、最近は小さく回ってダンロップコーナーを大きく使う人の方が多いですね。デグナーひとつ目はコース外側の白線ギリギリまで行って、コースをなるべくいっぱいに使わ

ないとエイペックス（頂点）のスピードを保てない。ヘアピンも奥まで行ってスピードを落とさずに回って行く感じ。スプーンも1つ目が昔より速いんですが、そこで頑張らずに2つ目に上手くアプローチできるラインを取る方がタイムにつながりますね。シケインでは、2つ目の縁石を使うかわらないか分かれるところ。1つ目でしっかり車速を落として、2つ目で真っ直ぐ立ち上がるようなラインの方がタイムが出るし、オーバーテイクも仕掛けられにくいと思います。

VANTELIN TEAM TOM'S

バンデリン チーム トムス

36

中嶋一貴

Kazuki NAKAJIMA
1985年1月11日生
愛知県

2012、14年のチャンピオン。父はナカジマレーシングの中嶋悟監督で、親子共々F1で活躍した実績をもつ。自身3度目のチャンピオン獲得を目指す。



VANTELIN KOWA TOM'S SF14



<http://www.kazuki-nakajima.com/>

37

ジェームス・ロシター

James ROSSITER
1983年8月25日生
イギリス

今季2年ぶりにスーパーフォーミュラへ復帰。2013年にデビューした時と同じ強豪チームからの参戦で、タイトル争いに加わるが注目される。



VANTELIN KOWA TOM'S SF14



<http://twitter.com/rossiterracing>

B-Max Racing team

ビーマックス・レーシング・チーム

50

千代勝正★

Katsumasa CHIYO
1986年12月9日生
東京都

今年スーパーフォーミュラにデビュー。これまではGTレースで主に活躍し、ブランパン耐久シリーズでは日本人初のシリーズ王者に輝いている。



B-Max Racing SF14



<http://www.chiyo-katsumasa.com/>

TCS NAKAJIMA RACING

ティーシーエス・ナカジマレーシング

64

ナレイン・カーティケヤン

Narain KARTHIKEYAN
1977年1月14日生
インド

2001年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。その後F1で戦い、14年から再びスーパーフォーミュラに。今年41歳の現役最年長ドライバーである。



TCS NAKAJIMA RACING SF14



<https://twitter.com/narainracing>

65

伊沢拓也

Takuya IZAWA
1984年6月1日生
東京都

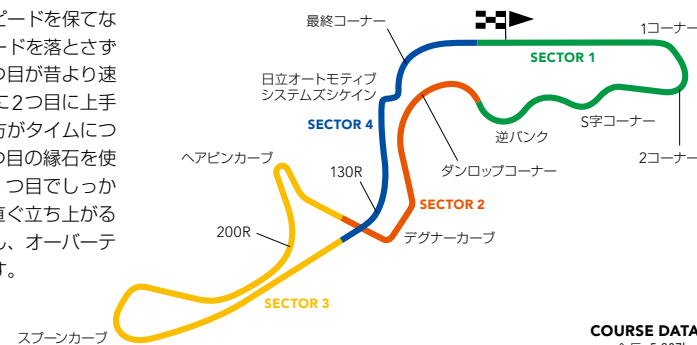
2012年にタイトル争いを演じ、ランキング3位。14年にはGP2に参戦した。15年から再びスーパーフォーミュラにフル参戦し、今年チームを移籍した。



TCS NAKAJIMA RACING SF14



<http://www.takuya-izawa.com/>



COURSE DATA

全長: 5.807km
コースレコード: 1'35.907 中嶋一貴 (VANTELIN KOWA TOM'S SF14) 2017.4.22

Starting Grid — スターティンググリッド

自分でGrid表を完成させよう!

No.	2	No.	4	No.	6	No.	8	No.	10	No.	12	No.	14	No.	16	No.	18	No.
1	No.	3	No.	5	No.	7	No.	9	No.	11	No.	13	No.	15	No.	17	No.	19

ソフトタイヤの開発

2018年度のソフトタイヤの狙い

スーパーフォーミュラへのADVAN供給初年度となった2016年、かねてより検討されていたソフトタイヤの導入が決定し、第4戦もてぎに供給しました。翌2017年、我々は供給2年目にしてミディアム、ソフト、ウェットすべてのタイヤを刷新し、それぞれの性能向上を図りました。特に第4戦もてぎ、第5戦オートポリスの2大会に供給した新しいソフトタイヤは、前年以上にミディアムタイヤとの差別化を図り、高い評価を得ることができました。一方で「サーキット、走り方、コンディションによっては意外に走行距離が伸びる」ということから、さらにアグレッシブなタイヤのご要望もいただきました。我々としては、この特性は「戦略の幅を持ついいタイヤ」だと認識して

おり、このタイヤをこのまま継続使用すればよいのではないかと考えました。しかし、最終的に2018年は、さらなるタイムアップ、デグラデーション（走行を重ねることによるタイヤ性能の劣化）と摩耗の促進、加えて全戦2スベックというご要望を受けるに至りました。

2018年度のソフトタイヤの内容

2017年ソフトタイヤからの変更点はキャップコンパウンド（タイヤ表面部のゴム性質）のみです。コンパウンドは2017年ソフトコンパウンドベースでグリップアップとデグラデーションの促進を狙ったものです。さらにソフトコンパウンド化による剛性低下を補うこと、摩耗限界を早めること、軽量化することを目的としてキャップコンパウンド層を薄くしています。

2018年度のソフトタイヤの性能

開幕戦前に行われた鈴鹿、富士の2回の公式テストを経た感触としては、サーキットや路面温度に左右されやすいのですが、ソフトタイヤはミディアムタイヤ比で1～2秒のタイムゲインがあると認識しています。さらにデグラデーションも大きくなっています。摩耗に関してはミディアムタイヤが1レースを走りきれるレベルを有しているのに対して、ソフトタイヤは使用条件によっては10数ラップ程度ということも考えられます。

予想される展開

ソフトコンパウンドは、グリップアップとデグラデーションの促進がなされています。ミディアムタイヤは温めに3ラップ程度必要で、一度温まると冷めにくい特性になっています。一方、ソフトタイヤはそれより早く温まり、ピークの持続性が短いので、特に予選では内圧管理も含めてタイヤの温め方が非常に重要になります。決勝では摩耗状態を含むタイヤ自体の変化、路面や路温とい



ったコンディション変化の過程で、ソフトタイヤとミディアムタイヤの性能が拮抗、もしくは逆転する場合がございます。天候とコースの組み合わせによっても、ソフトタイヤとミディアムタイヤの相対関係が変わる可能性があります。これは大会毎にソフトタイヤが勝つための「切り札」にも、どこかで消化しなければならない「足枷」にもなりうるということです。望まれて開発したソフトタイヤが「足枷」になるのは忍びないですが、この辺りもレースの見所になるのではないのでしょうか。



観戦中の情報収集は

レースの状況を把握するなら…… 公式アプリ

順位、ラップタイム、セクタータイム、位置情報などがひと目でわかる無料アプリ。場内放送も聞けて非常に便利！

<http://superformula.racelive.jp/>



リザルトやコメントを見るなら…… オフィシャルサイト

走行結果やインタビュー、その他リリースなど。随時最新情報を掲載！
<https://superformula.net/sf2>

リアルタイムな情報収集には……

Twitter

SUPER FORMULA公式アカウント
@super_formula

TOYOTA GAZOO Racing
@toyota_gr

HondaモータースポーツLive
@hondajp_live

公式ハッシュタグは「#sfformula」

記事やダイジェスト動画は……

Facebook

スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook
<https://www.facebook.com/superformula.official>

YouTube

YouTube公式チャンネル
<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>



お求めは
場内売店か
公式サイトへ！

SUPER FORMULA OFFICIAL SHOP

全日本スーパーフォーミュラ選手権
2017総集編DVD発売中！

世界が注目するドライバー達が集結。国内トップフォーミュラ激動の1年間を振り返る決定版！ 2017年シリーズ全7戦のダイジェスト（レース中継＋オンボード映像＋インタビュー）を収録。

価格：5,400円（税込）

SUZUKA 2&4 RACE 公式プログラム販売中

GATE SHOP他鈴鹿サーキット内
各所で販売しています。

価格：1,000円（税込）



チーム探訪 ここがウチの自慢です！

スーパーフォーミュラに参戦しているチームの皆さんに「チームの自慢」をご紹介いただくこのコーナー。第1回目はTCS NAKAJIMA RACINGの平野亮コーディネーターに自慢ポイントを伺いました。

まずピットに入ってから紹介いただいたのはピット壁面に設置されたバーテーション（写真①）。「チームスポンサーのエフソンさんの協力で、ロゴを特殊印刷した布バーテーション」だそうで、各チームとも2000mm×900mm程度の重くかさばるアルミバーテーションを組み立てて使用中、「いろんな機材をトレーラーに格納する際、収納がコンパクトでスペースの削減ができる」という優れたもの。また「他のピットは工具などのケースをピット内に置いています。ウチはバーテーションの下部に前板で棚を作っています。なるべくピット内の地面には物を置かないよう、効率面にも安全面にも配慮しています」。

特に驚くのはこうしたピット内のレイアウト

（写真②）は「事前に建築用の3D-CADで作成し、人や物の動きによって、スポンサーロゴなどに死角が生じないように、シミュレーション」した上で現地に入るそう。作業もしやすいし、大切なスポンサーにも気を配った絶妙なレイアウトだ。また、昨年から同チームをサポートする、ITサービスで世界トップクラスの実績を持つTCS（タタ・コンサルタンシー・サービス）のデータ解析技術を使用し、「エンジニアが欲しいデータをソフトウエアとしてまとめ、運用を開始し始めた」ところ。「もうすぐ全てのデータをタブレット端末で共有できるようになります。また、サーキットから供給されるラップタイムデータではリアルタイムで表現しきれない独自のチャートや、ある方法を使ってリアルタイムで検証するものなど、チームが持つ経験と豊富なアイデアと、TCSが持つソフトウエア制作能力を融合させ、アプリケーションを通して「視覚化」している（写真③）。「レース中の様々な条件変更によって生じるスト



ラデジーの変更も、展開を予測しながら解を見つけ出すところまで行きたい」と言う。

そして、中嶋悟監督も「ウチはごはんが美味しい！」と太鼓判を押す象印製の炊飯ジャーも自慢の一つだ（写真④）。「お弁当はおかずだけお願いし、ごはんはこのジャーで炊いています」とのこと。早朝から、時には深夜まで及ぶピット作業のスタッフには、とても美味しいチーム自慢だ。



TV放映／映像配信

BSフジ 決勝戦中継 『2018スーパーフォーミュラ第1戦鈴鹿』



ピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫した状況をレーシングドライバー 松田次生と、東(ひがし)美樹がピットからレポートします。今シーズンは、解説者に鈴木亜久里、古賀敬介（モータージャーナリスト）を大会ごとに迎えて、鋭くまたわかりやすく解説をします。
○放送時間：4月22日（日）午後6時00分～7時55分

BSフジ 『スーパーフォーミュラ GO ON!』



今シーズンから、「スーパーフォーミュラ」の情報を完全網羅する番組としてリニューアル。SF14ラストイヤー、全戦2スベックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズン。そのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉と解説の松田次生が徹底分析。また、ゲストコメンテーターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深堀りする。番組の進行役は本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。
○放送時間：第2回 5月5日（土）午後11時00分～11時55分

J SPORTS



全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。
○放送時間：4月21日（土）午後3時30分～ 予選生中継
4月22日（日）午後1時30分～ 決勝生中継

J SPORTS 3

J SPORTS 3

GYAO!

大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>



TIME SCHEDULE タイムスケジュール

RACE	レース
4月21日(土)	
8:00- 8:20	N-ONE予選
8:40- 9:10	JSB1000 A Gr予選
9:25- 9:55	JSB1000 B Gr予選
10:15-11:20	SUPER FORMULAフリー走行
11:35-12:05	F3第1戦/2戦予選
12:20-13:10	ピットウォーク
13:40-	N-ONE決勝 [6Laps]
14:45-	JSB1000 Race1決勝 [18Laps]
15:45-16:05	SUPER FORMULA 公式予選 (Q1)
16:15-16:22	SUPER FORMULA 公式予選 (Q2)
16:32-16:39	SUPER FORMULA 公式予選 (Q3)
17:00-17:30	キッズピットウォーク
4月22日(日)	
8:00- 8:15	JSB1000フリー走行
8:35- 9:05	SUPER FORMULAフリー走行
9:45-	F3 第1戦決勝 [12Laps]
10:55-	JSB1000 Race2決勝 [18Laps]
11:55-12:45	ピットウォーク
13:50-	SUPER FORMULA 決勝 [51Laps]
16:30-	F3 第2戦決勝 [17Laps]

EVENT	イベント
4月21日(土)	
7:45- 7:55	オープニングステージ MC:水村リア/ 7:55-8:05 鈴鹿サーキットクイーン PRステージ MC:水村リア
8:10- 8:40	NGK ルーレット de スパーク!
9:10- 9:25	くま吉 じゃんけん大会 MC:今井優杏
10:00-10:15	ホンダN-ONE OWNER'S CUPトーーク ゲスト:中山友貴 MC:水村リア
11:20-11:40	JSB1000 TeamHRCトーーク ゲスト:(予定)高橋選手、宇川監督 MC:辻野ヒロシ
11:45-12:05	JSB1000 YAMAHA FACTORY RACING TEAMトーーク ゲスト:中須賀選手、野左根選手、吉川監督 MC:辻野ヒロシ
12:10-12:40	NGK Change de スパーク!
12:45-12:55	SFビギナーズトーーク ゲスト:東美樹 MC:水村リア
12:55-13:10	SF予選直前トーーク ゲスト:松田次生、東美樹 MC:水村リア
13:15-13:35	SFドライバートーク① ゲスト:国本選手、Nキャディ選手、山本選手、塚越選手、平川選手、Jロシター選手 MC:今井優杏、水村リア
13:35-13:55	SFドライバートーク② ゲスト:山下選手、松下選手、Pフィッティリディ選手、徳住選手、小林選手、関口選手、Nカーディヤン選手 MC:今井優杏、水村リア
13:55-14:10	SFTヨタ若手監督トーーク ゲスト:立川監督、片岡監督 MC:今井優杏
14:10-14:45	レースクイーンステージ MC:水村リア/ 16:45-17:00 鈴鹿サーキットクイーンステージ MC:水村リア
17:00-17:20	テクノロジープラトリー 両角岳彦、浅見理美、スペシャルゲスト(予定) MC:水村リア
4月22日(日)	
7:45- 7:55	オープニングステージ MC:水村リア/ 7:55-8:05 鈴鹿サーキットクイーン PRステージ MC:水村リア
8:05- 8:20	くま吉 持ち物ゲーム MC:今井優杏/ 8:20-9:05 レースクイーンステージ MC:水村リア
9:10- 9:30	JSB1000 4メーカー監督トーーク ゲスト:(予定)吉川監督、宇川監督、加藤監督、釈道堂監督 MC:辻野ヒロシ
9:30-10:00	NGK Change de スパーク!
10:00-10:15	SFホンダ監督トーーク ゲスト:村岡監督 MC:水村リア、東美樹
10:15-10:35	SFドライバートーク③ ゲスト:石浦選手、野尻選手、大嶋選手、中嶋選手、千代選手、伊沢選手 MC:今井優杏、水村リア
10:35-10:50	SFボールポジションドライバートーク ゲスト:PP獲得ドライバー MC:水村リア
11:40-11:55	SF決勝直前トーーク ゲスト:松田次生、東美樹 MC:水村リア
12:00-12:25	SFTヨタ監督トーーク ゲスト:館監督、星野監督、近藤監督 MC:今井優杏
12:25-12:55	NGK BINGO de スパーク!
12:55-13:05	SFビギナーズトーーク ゲスト:浅見理美 MC:水村リア
16:10-16:25	鈴鹿サーキットクイーンステージ MC:水村リア
16:30-16:45	SF優勝ドライバートーク ゲスト:優勝ドライバー MC:ピエール北川、松田次生
17:10-17:30	テクノロジープラトリー 両角岳彦、浅見理美、優勝エンジニア MC:水村リア

※スケジュール、内容、出演者等は予告なく変更、中止になる場合があります。